

ジフルフェニカン・トリフルラリン粉粒剤 ガレース G	取扱メーカー： バイエル 原体メーカー： バイエル、ゴーワン
成分： ジフルフェニカン〔ニコチンアニリド系〕………0.15% トリフルラリン〔ジニトロアニリン系 PRTR・1種〕…2.0% その他 PRTR 該当成分： パリゴルスカイト〔PRTR・2種〕………87.1%	性状： 淡黄色細粒及び微粒 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】 ……………

- 非ホルモン・吸収移行型の除草剤で雑草の発芽時に幼芽・幼根より吸収され、雑草の発生を抑える土壤処理型除草剤である。
- スズメノテッポウ・スズメノカタビラなどの一年生イネ科雑草からナズナ・タネツケバナなどのアブラナ科雑草やハコベ・ノミノフスマなどのナデシコ科雑草及びノボロギク・イヌカミツレなどのキク科雑草など多くの一年生広葉雑草に対して発生前の土壤処理で優れた除草効果を示す。
- 土壤中での移動性は小さく、土壤表層に安定した処理層を形成するとともに、除草効果の持続期間が長い除草剤である。
- 粒剤タイプなので使い易く、手まきもできる。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】 ……………

- 必ず雑草の発生前～発生始期に散布する。
- 土壤表面が適度に湿っている時に散布するとより効果的である。

【薬効・薬害等の注意】 ……………

- 砕土・整地は丁寧に行い、覆土は細かく砕いた土を用いて、覆土深は2～3 cmになるようにする。
- 大麦では、砂質土壤での使用はさける。
- 水田裏作の麦類に使用する場合、過湿状態での使用はさける。
- 秋播麦類に使用する場合、土壤残効が長いので年内に散布を終える。
- 本剤の使用により、まれに麦の葉身に白斑が見られるが、その後回復し、麦の生育・収量に影響はない。
- 散布薬剤の飛散あるいは本剤の流出によって有用植物に薬害を生じるおそれがあるので、散布の際には隣接作物にかからないように注意する。特に風の強い時の使用はさける。
- 本剤を散布した圃場で後作物を栽培する場合には、耕起を十分行う。
- 適用作物（麦類）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】 ……………

- 靴、作業着などに薬剤が付着すると着色するので取扱いに注意する。
- 散布に用いた器具類は、使用後できるだけ早く水でよく洗浄し、他の用途に使用する場合、薬害の原因にならないように注意する。
- 魚類、藻類に影響を及ぼすおそれがあるので、使用時は注意。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。
- カブレやすい体質の人は取扱いに注意する。



